

当院での初期研修に関心を持って下さる医学生に向け、選考に対する私達の考えを御説明します。

### 選考の位置づけ

私達は選考の過程を学業優秀であったり英語が得意な人材を選び出すこととは考えていません。優れた人材を選び出すことよりも「当院の初期研修プログラムに合う方に来ていただく」ことが重要だと考えています。

当院に合うとはどういうことでしょうか。当院ではアドミッションポリシーと呼ぶ選考の基準を作成しており、次で詳しく御説明します。また、このような基準を設けてはいますが、当院に合う人物像とは決して画一的なものではありません。多様な研修医が集まっていることも当院の魅力であると考えています。

### アドミッションポリシー 期待する研修医像

初期研修に関わる様々な部門の代表者から意見を集め、研修医に期待することをまとめました。当院の研修において重視される内容とも言えます。自身の指向と合致するか検討していただけるよう、医学生に公開しています。

#### ① 知識・技能の領域

✓ 充実した知識と技能を有し、それらを診療に活かし向上に努める。

#### ② 理解・思考・表現の領域

✓ 論理的に理解・思考・表現する能力を有し、それらを診療に活かし向上に努める。

✓ 他者と理解・共感・表現し合う能力を有し、チーム医療を実践すると共に、互いに教え合い学び合う。

✓ 英語による理解力・表現力と国際的視点を有し、診療や医学知識の習得・発信に活かす。

✓ 課題を抽出して解決する意識を有し、当院の伝統を受け継ぎながらさらに発展・変革していく。

#### ③ 主体性・協調性の領域

✓ 主体性を有し、診療と研修の両面において自ら考え行動する。

✓ 協調性を有し、チーム共通の目標に共感し協力・分担して行動する。

#### ④ 倫理・使命感の領域

✓ 強い使命感と優しい心を有する。

✓ 責任感を有し、自身の役割を理解し遂行する。

✓ 社会・システムの中で医師が負う責任を引き受け、秩序を守って行動し、社会に貢献する。

### アドミッションポリシー 入職前の段階で期待する内容・水準

「期待する研修医像」に基づいて導き出した、医学生に期待することです。選考において特に注目する点であり、医学生に公開しています。

すべての項目を完璧に満たすよう求めているわけではありません。特に英語力についてはよく御質問をいただきますが、入職前に高い英語力を期待しているのではない、ということも誤解を招かないよう申し添えます。

- ✓ 医学全般に幅広く興味を有し、基本的な原理と知識を修得している。
- ✓ 論理的に考え、自身の考えをわかりやすく伝えることができる。
- ✓ 他者との共感・協力ができるコミュニケーション能力を有する。
- ✓ 英語力と国際的視点の重要性に気づき、それを向上させる意欲を持つ。
- ✓ 自ら考え行動する姿勢を有するとともに、人と協力することができる。
- ✓ 困っている人を助ける基本的行動原理を有し、そうした職業に就く自覚を持つ。
- ✓ 自身・医療と社会との関係を考える視点を有する。

当院の研修に興味を持って下さる医学生には、こうしたことを意識しながら過ごしていただきたいということです。そして選考においては遠慮なくアピールして下さい。

### 選考の方法

書類、筆記試験、日本語面接、英語面接、の4つの方法を組み合わせます。入職前の段階で期待する内容・水準と4つの選考方法との関係は次の表のようになっています。

入職前の段階で期待する内容・水準	書類	筆記試験	日本語面接	英語面接
医学全般に幅広く興味を有し、基本的な原理と知識を修得している。		○		
論理的に考え、自身の考えをわかりやすく伝えることができる。	○	○	○	
他者との共感・協力ができるコミュニケーション能力を有する。			○	
英語力と国際的視点の重要性に気づき、それを向上させる意欲を持つ。	○		○	○
自ら考え行動する姿勢を有するとともに、人と協力することができる。	○		○	
困っている人を助ける基本的行動原理を有し、そうした職業に就く自覚を持つ。	○		○	
自身・医療と社会との関係を考える視点を有する。	○		○	

**よくある質問① 見学経験があることを応募要件としているのは何故ですか。**

当院に合う人材に来ていただきたい。そのために医学生のみなさんには様々な情報収集・見学や選考の過程も含めて、当院の特徴を理解していただきたい。こうした考えに基づいています。そして私達も医学生みなさんの選考を受ける心づもりでいます。

**よくある質問② 海外留学の希望の有無は選考に関わりますか。**

みなさんが描く「医師としての将来像」を理解する目的で、留学の考えにつき質問することはあり得ます。これが選考上の有利不利に関わることはないのです、心配なくお考えを聞かせてください。

医学生・研修医がもし海外留学を志すなら、それを私達は応援します。決して海外留学に限られるのではなく、医学生・研修医のキャリア形成を私達は応援します。

**よくある質問③ 筆記試験について詳しく教えてください。**

範囲・難易度・出題形式は国家試験に準じるものとし、オンラインで実施します。

アドミッションポリシーでは「医学全般に幅広く興味を有し、基本的な原理と知識を習得している」ことを求めています。幅広い診療領域に挑戦し、診療の前線に立つ当院の研修に臨むために、必要な要件です。

選考を通じて医学生を育てる思いも込めています。当院での研修を希望し勉強を頑張れば、国家試験の結果にも繋がる。医師となるべく日頃から勉強している医学生は、当院の選考でも優位に立てる。当院で研修するためには国家試験に合格することも不可欠であり、合理的な考え方ではないでしょうか。

結果の活用についてですが、得点の高低が最終評価に直結するわけではありません。求めているのは「基本的な原理と知識を習得している」ことです。まずは約半年後の国家試験合格を目指せる水準に達するよう頑張ってください。

**よくある質問④ 英語面接について詳しく教えてください。**

英語面接を高いハードルと感じる医学生に向け「入職前の英語力はあまり重視しない」ということを明確に申し上げます。海外在住歴等がある方を優遇することはありません。

求めているのはアドミッションポリシーにもあるとおり「英語力と国際的視点の重要性に気づき、それを向上させる意欲を持つ」ことです。当院で充実した研修生活を過ごせるよう、英語でのやりとりにも挑戦する勇気を期待しています。そしてここにも医学生を育てる思いを込めています。

当院の特色を理解していただけるよう、テキサス大学から当院の研修医教育に参加している指導医を中心に、米国人医師が面接する予定です。先に説明したように英語に挑戦するよう期待していますが、日本人医師も同席することを付け加えます。

**よくある質問⑤ 大学に地域枠で入学していることは選考に関わりますか。**

地域枠を理由として採用にならないということはありません。実際、北海道や北海道外各地の従事要件が課されている方が当院で数多く研修しています。

社会で共有され様々な期待を背負う若い医師を、私達は研修医として預かっています。従事要件等がある場合にはそれを把握し、一緒に進路を考える責任があります。こうした理由から、応募時には地域枠適用についての申告をお願いしています。